

設 立 趣 旨 書

日本の幼児教育の世界は、認定こども園の運用や教育の無償化がはじまり、幼保小一元化に向けた動きが始まるなどの制度的に大きな変化のときにあります。それは、社会的なニーズに応えるという理由もありながら、幼児教育に関する書籍が国内外で話題になるなど、その重要性が見直されてきているという理由も含まれているでしょう。

では、制度や体制が変われば、理想の教育環境は実現されるでしょうか。

この変化とともに、日本の幼児教育の世界が量・質ともに豊かな活動を展開するには、直に子どもたちと触れ合う保育者の影響力が欠かせません。

保育者が、自分自身や保育の仕事に対して誇りを持ち、保育者同士が学びあえる豊かな人間関係を築くこと、それが出来る職場であることは保育の質を高めてくれます。

職業として素晴らしく、そのことが社会に認識されていけば、保育者を志ざし、継続していく人も増えていくでしょう。

一方で職場としての保育の現場では、長らく以下のような状況が続いています。

- 長時間の労働や保育者一人の抱える負担が大きく、十分な現場実践の振り返りと研鑽・研修機会をもつことが難しい。
- ベテランから若手への一方的な指導になりやすく、また、時間をかけて話をする機会自体が少なく、相互での学び合いの関係をもつことが難しい。
- 求められる職務責任は大きい一方で、待遇面でのバランスが取れていないこと。

特に、若い世代にとっては、たとえ希望を持って職に就いても、継続することが難しく、精神面でのバランスを崩す方も少なくありません。

園の内部では、その問題を認識していないわけでは有りません。しかし、その解決方法の多くは、目の前の問題が起こらないように、保育者により厳しく、外側から律していくものであり、そのとき、保育者同士は助け合うよりも監視し合い、個人間の心の交流はより一層難しくなっています。

また、園の外側にある社会に対しては、幼児教育の起こり、実践、研究などの情報を届け、社会に活動を知ってもらおうという機会が少なく、＜子どもと一緒に遊んで過ごす仕事＞というような表面的なことのみに伝わっていることも多々あります。

日本の幼児教育は、その理論や描く理想像に、なにかが決定的に不足している、或いは海外と比較して絶対的遅れを取っているわけではありません。しかし、理論や理想を実践に移すための、体制、援助、充実した運営体制には不足があると言えます。保育者一人が、様々な業務・役割・責任を抱えすぎているために、想いがあっても形にすることができないのです。

私たち（特定非営利活動法人 NAGOMI MIND）は、これら社会課題へ取り組むために、下記のことを行ってまいります。

- ① 各園などの組織の枠を超えて、安心の中で情報交換・意見交換のできる保育者のための場所・時間（オンラインでのコミュニティ等）をつくること。
- ② 幼稚園教育要領に関係の深い芸術家、或いは業界の外で活躍している多様な人たちのちからを借りて、より広い視野に立った個々人の保育観を育てていくこと（休暇期間を利用した研修機会の提供や、保育現場への出張ワークショップ提供、社会を広く捉え保育に取り入れるきっかけづくりなど）。
- ③ 幼児教育の歴史的な流れや実践・研究の積み重ね、人間の根源的な教育の営み、私たち（特定非営利活動法人 NAGOMI MIND）の活動によって蓄積されていく新しい保育観を記録し、伝承していくこと。

学びの過程において重要なことは、他の誰かに正解を伺うことや、言われたことをただこなすのではなく、自分自身の中に芽生えた疑問や問いに対して、自分なりのアプローチを行い、答えを導き出していくことです。

また、人間関係という面で捉えれば、個人への厳しさを増すのではなく、自分自身のこれまでの働きを認め、まず自分にやさしい眼差しを向けることで、同僚という他者に対する思いやり、理解、助け合いがうまれてきます。それは同時に、ひとりひとりの子どもを深く理解するということにもつながるでしょう。

そのとき必要なことは、指導という助言を聞くより、お互いに聴きあうということです。自分を外側の状況に合わせていくのではなく、自分の内側に向き合い、自己を理解していくことです。こうした保育者の学びの機会を、つくり出す活動を行っていきます。

園の外側にある社会に対しては、日本の幼児教育がたどってきた歴史的な流れ、より前史のことや、国外の事も含め、情報発信を行っていきます。幼児教育に携わる人や、その働きに対しての見方が変わり、また、保育者自身も自分の職業に誇りを見出すきっかけをつくります。

上述の課題は、多くの園が抱えています。一方で保育者や各園の状況は、経済的に豊かであるとは言えません。NPO法人という運営形態を取り、賛同者によって経済的な負担を軽減しながら、幼児教育の世界を豊かにしていくという活動を行う必要性を感じました。

特定非営利活動法人は、定期的な総会の実施や法令等で定められた書類の作成・提出、市民への情報公開等を適切に行うことで、社会的な信用を得て、健全な法人運営ができる組織の形でもあると考えます。

自分たち市民の手で、子どもたちの豊かな学び、子育て環境への安心をつくるという活動を行うために、ここに特定非営利活動法人 NAGOMI MINDを設立致します。

2022年2月3日

法人の名称 特定非営利活動法人 NAGOMI MIND

設立代表者 塚田 裕美